

12

気仙沼 南三陸

三陸エリア

気嵐 (けあらし)

海と陸の極端な温度差が生み出す「気嵐」は、気仙沼へ冬を知らせる風物詩。

©かとうまさゆき

気仙沼市 魚市場

メカジキやカツオなどが水揚げされる気仙沼魚市場。2階の展示施設も好評だ。

P.136



田束山

例年5月中旬頃につつじが満開に。田束山山頂一帯が朱色に染まる光景が見事。

P.136



南三陸里山・ 里海サイクリング みなチャリ!

南三陸町で行うガイド付きサイクリング。地元の人とのふれあいも楽しみ。

P.138



気仙沼 大島大橋

2019年4月に開通したアーチ橋。白亜の橋からは、気仙沼の絶景が望める。

P.134



三陸を代表する奇観



唐桑半島中央東側に位置する巨釜半造は、三陸復興国立公園を代表する景勝地。大理石の石柱「折石」をはじめ、「トンネル岩」や「潮吹岩」など、奇岩、怪石が連続する。豪快な海岸美と眼下に広がる男性的な景観は圧巻だ。

☎173P参照 ☎0226-32-3029(唐桑町観光協会)



●唐桑半島ビジターセンター&津波体験館

御崎地内にある展示施設で、東日本大震災の被災状況を示す写真展示コーナーもある。併設の津波体験館は、日本で最初につくられた津波疑似体験館。新しい映像では東日本大震災の映像も組み込まれ、防災教育を重視した内容となっている。

☎8時30分～16時30分 ☎火曜休(祝日の場合は開館)、祝日の翌日休(土・日曜の場合は開館)。GW、夏休み期間は無休 ☎無料(津波体験館は380円) ☎普30台・大5台 ☎174P参照 ☎0226-32-3029



●岩井崎

気仙沼の階上地区にある岩井崎は、「三陸ジオパーク」のジオサイトに認定された。長い年月をかけて海水によってギザギザに浸食された石灰質の潮吹岩では、岩の割れ目から潮が吹き上がる光景が見られる。東日本大震災で甚大な被害を受けたが、三陸ジオパークなどの取り組みにより注目されている。

☎30台 ☎174P参照 ☎0226-27-5410(気仙沼市階上観光協会)



●龍の形の被災松「龍の松」

津波によって被害を受けた松の一部が奇跡的に残り、天へと昇ろうとする龍のような形に見えることから「龍の松」と名づけられ、岩井崎復興のシンボルとなっている。傷みが激しく一時は枯死状態となったが、復興のシンボルとして長く保存する為の加工が施され、2016年に現在の場所に設置された。

☎174P参照 ☎0226-27-5410(気仙沼市階上観光協会)



●津波石

唐桑半島の神の倉地区には、東日本大震災の大津波によって海底から波打ち際に打ち上げられた直径約5メートルもの巨大石がある。石はいずれも高さ3m以上で津波の威力を直に目で確認でき手で触れることができる貴重な震災遺構だ。

☎174P参照 ☎0226-32-3029(唐桑町観光協会)

「緑の真珠」と呼ばれるジオサイト



気仙沼大島は「緑の真珠」と呼ばれる。ツバキの名所として知られ、ツバキ回廊と呼ばれる場所もある。2019年4月には本州と気仙沼大島を結ぶ希望の橋が開通。気仙沼の新たなランドマークとなっている。

☎174P参照 ☎0226-28-3000(気仙沼大島観光協会)



●気仙沼湾クルージング

気仙沼湾と大島周辺を中心に遊覧する船会社では、「気仙沼クルージング」や「気仙沼湾ナイトクルーズ」を実施。ウミネコの出迎えを受けながら、リアス式海岸や気仙沼港、大島を洋上から眺望できる。東日本最大のアーチ橋・気仙沼大島大橋も真下から見上げられる。

★要確認 ☎0226-23-3315(大島汽船)



●休暇村気仙沼大島

田中浜を見下ろす丘の上に建つ「本館」のほか、キャンプ場もある。遊歩道も整備されており、潮騒を聞きながらの散策におすすめ。近くには鳴砂で有名な十八鳴浜がある。

☎1泊2食付き宿泊2名1室1名9720円～ ☎174P参照 ☎0226-28-2626



●十八鳴浜

歩くと「クックッ」と砂が音を立てることから9+9=18で「十八鳴浜」と名づけられたといわれている国の天然記念物。「三陸ジオパーク」のジオサイトとして認定されている。

☎174P参照 ☎0226-28-3000(気仙沼大島観光協会)

うまい!三陸の幸が並ぶ海鮮市場

気仙沼港で水揚げされる三陸沖で獲れた「サンマ」、「カツオ」、「メカジキ」など、四季折々の海産物が一年を通じて店内に並ぶ。また三陸の新鮮な魚を使った魚介類の商品も多数取り揃えており、気仙沼名物フカヒレを使った「ふかひれ濃縮スープ」や、農林水産祭天皇賞を受賞した「あぶりさんま」はお土産品として人気がありオススメです。施設内にある食事処では三陸でしか味わえない海鮮丼や定食などがその場で堪能できるのも嬉しい。



DATA
★通年 ☎8～18時(11～3月は～17時30分)。レストランは10～21時(L.O20時30分)。温泉利用は12～16時、19～22時(受付は1時間前まで) ☎無休 ☎800円 ☎100台 ☎JR気仙沼駅から徒歩約20分 ☎0226-29-6233

レジャー・ショッピング **小田の浜海水浴場** 気仙沼市 MAP P.125



透明度の高い海で海水浴

気仙沼大島の東側に広がる遠浅の美しい海水浴場。透明度の高い澄んだ海で快適な海水浴が楽しめる人気スポット。環境省選定の「快水浴場百選」において特選(全国第2位)に選ばれている。

☎174P参照 ☎0226-28-3000(気仙沼大島観光協会)

レジャー・ショッピング **小泉海水浴場** 気仙沼市 MAP P.124



9年ぶりに海見開きた海水浴場

震災以降、海水浴場としてオープンしてなかったが、2019年7月に9年ぶりに海開き。県内でもっとも高い14.7mの防潮堤を背にして、約150mのエリアが遊泳可能になった。遠浅な海はファミリーで遊ぶのにおすすめ。

☎174P参照 ☎0226-44-3180(本吉町観光協会)

レジャー・ショッピング **お伊勢浜海水浴場** 気仙沼市 MAP P.125



2020年夏に復活する海水浴場

砂浜に穏やかに打ち寄せる波、水面を染める朝日や夕日美しいビュースポットとして知られていたお伊勢浜海水浴場。東日本大震災で大きな被害を受け、砂浜の多くが流出してしまいましたが、このほど砂浜が再生され、2020年夏にようやくオープンする。

☎174P参照 ☎0226-27-5410(気仙沼市海上観光協会)

レジャー・ショッピング **サンオーレそではま海水浴場** 南三陸町 MAP P.124



ファミリーに人気の海水浴場

震災後閉鎖され、2017年より再開した海水浴場。汀線300mの人工砂浜が美しく、波も穏やかなので子ども連れにもおすすめ。海の家や無料のシャワーも備えられている。

☎無料 ☎500台 ☎174P参照 ☎0226-46-1385(南三陸町商工観光課)

レジャー・ショッピング **気仙沼 海の市** 気仙沼市 MAP P.125

ショッピング、グルメ、学び



気仙沼港に面し、魚市場と見学デッキでつながった絶好のポジションにある。1階は海産物のショッピングフロア、飲食店舗、氷の水族館。2階は気仙沼シャークミュージアムと気仙沼市観光サービスセンターのフロアとなっている。

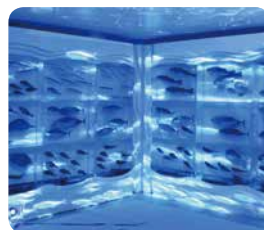
☎物販店は8～17時(5～9月は～18時) ☎不定休 ☎113台 ☎173P参照 ☎0226-24-5755(気仙沼産業センター)



●シャークミュージアム

2階のシャークミュージアムは、展示スペースとして「シャーク」ゾーンのほかに、「絆」「震災の記憶」「海と生きる」のゾーンがある。シャークゾーンでは最新映像技術プロジェクションマッピングで、全長4mの巨大ジンベエザメの模型のボディに映し出される模様やサメたちの姿が見られる。

☎9～17時(入館は～16時30分)(5～9月は9～18時、入館は～17時) ☎不定休 ☎大人500円 ☎173P参照



●氷の水族館

マイナス20度の館内に、気仙沼港で水揚げされるカツオやサンマなど約600匹の魚を展示している。プロジェクションマッピングの演出が幻想的。

☎9～17時(5～9月は～18時) ☎500円 ☎173P参照 ☎0226-24-5755

レジャー・ショッピング **Oshima Paddle Club** 気仙沼市



SUPを操り大島の自然を体感!

気仙沼大島の小田の浜ビーチまたは田中浜で開催されるSUP体験が好評。1人からでも予約できる気軽さも魅力だ。初心者向けのショートコースや、大島の無人島を目指すコースなど、3つのコースがそろっている。

★5～10月末頃 ☎9時～13時 ☎不定休 ☎1名6000円～、別途ウェア・レンタル1000円 ☎173P参照 ☎090-4310-7433(小野寺)

南三陸温泉

「震災を風化させないための語り部バス」毎日運行中

JAPAN TOURISM AWARDS 大賞受賞

無料シャトルバス毎日運行!

[仙台駅東口] (観光送迎バスのりば) …13:30発
[翌日ホテル] …10:00発 (要予約)

南三陸 ホテル 観洋

TEL 0226-46-2442(代)

〒986-0766 宮城県本吉郡南三陸町志津川黒崎99-17

https://www.mkanyo.jp

スタッフのブログやtwitter (@kanyo11)、facebookもご覧ください

南三陸 キラキラいくら丼 当館発祥です

歴史・文化 気仙沼湾



良港をもつリアス式海岸の湾

唐桑半島と岩井崎に囲まれた湾で、中央には大島がある。湾奥の気仙沼港は、カツオやサンマ、サメの水揚げ量が日本有数。カキやワカメ、ホヤの養殖も行なわれている。

☎173P参照 ☎0226-22-4560(気仙沼観光コンベンション協会)

気仙沼市
MAP P.125

レジャー・ショッピング 気仙沼お魚いちば



三陸復興の最前線に立つ

気仙沼特産ワカシをはじめとする加工品、気仙沼魚市場に水揚げされる魚介など、多彩な水産物が並ぶ。併設されたレストランで食事をする事ができ、グループを構成するサンマリン気仙沼ホテル観洋、気仙沼プラザホテルの温泉を利用することもできる。

★通年 ☎8～18時(11～3月は～17時30分)。レストランは10～21時(土・日・20時30分)。温泉利用は12～16時、19～22時(受付は1時間前まで) ☎無休 ☎100台 ☎173P参照 ☎0226-29-6233

気仙沼市
MAP P.125

レジャー・ショッピング のどか 野杜海



フェリー発着場の向いにできた商業施設

気仙沼大島の浦の浜地区に新たに整備されたのが観光商業施設「野杜海」だ。カフェダイニング、鮮魚店、ラーメン店、郷土料理の店など、5店舗がオープン。かつての港を見下ろすように造られた防潮堤の上にあり、ロケーションも抜群。

☎174P参照 ☎090-6626-0853(合同会社野杜海)

気仙沼市
MAP P.125

レジャー・ショッピング 復興かき小屋 唐桑番屋



海を見ながらカキを頬張ろう

気仙沼市唐桑町の鮎立地区にあるかき小屋。被災を乗り越えた養殖業者が手塩にかけて育てた、気仙沼産のカキやホタテが味わえる。夏季限定でうに丼を提供。

★10月初め～5月末の土・日曜、祝日のみ営業(平日は15名以上で対応可。要予約) ☎11～14時 ☎カキセット、ホタテミックスセットともに1500円 ☎173P参照 ☎080-8205-4186

気仙沼市
MAP P.125

歴史・文化 早馬神社



安産や海上・交通安全の御神徳

1217年(建保5)に梶原景実により創建。かつて源頼朝の命で夫人・北条政子の安産祈願を執り行ない、無事男児が産まれたことから、特に安産にご利益がある神社として有名。

☎174P参照 ☎0226-32-2321

気仙沼市
MAP P.125

自然 田束山



太平洋を一望するツツジの名所

山岳信仰の霊山として知られ、奥州藤原氏ともゆかりがあるとされる。標高512mの山頂付近まで車で行くことができ、三陸海岸を一望できる。5月中旬～下旬にはツツジが咲き誇る花の名所でもある。

★散策自由 ☎100台 ☎174P参照 ☎0226-46-1385(南三陸町商工観光課)、0226-22-3438(気仙沼市観光課)

南三陸町・気仙沼市
MAP P.124

自然 あんばさん 安波山



気仙沼湾を一望

標高239m。気仙沼市役所の背後にあり、港まち気仙沼の市民憩いの山。5合目の駐車場から徒歩で約10分で展望台付近まで登ることができ、気仙沼湾から大島までを一望できる。

☎20台 ☎173P参照 ☎0226-22-4560(気仙沼観光コンベンション協会)

気仙沼市
MAP P.125

自然 とくせんじょうざん 徳仙丈山



日本最大級のツツジの群生地

徳仙丈山は、全国屈指のツツジの名所。満開を迎える5月中旬～下旬には山全体がツツジ色に染まる。

★散策自由 ☎174P参照 ☎0226-42-2976(本吉総合支所産業課)、0226-22-4560(気仙沼観光コンベンション協会)

気仙沼市
MAP P.124

988-0014 宮城県気仙沼市柏崎1-1
TEL 0226-23-1313
http://www.kanyo.co.jp
https://www.facebook.com/kesenuma.plaza

988-0021 宮城県気仙沼市港町4-19
TEL 0226-24-1200
http://www.kanyo.co.jp
https://www.facebook.com/sanmarinkanyo

レジャー・ショッピング モーランド・本吉

気仙沼市

MAP P.124



動物とふれあい、乳製品づくりを体験

広大で緑豊かな放牧場で、ウサギやポニーなどの動物と触れ合うことができ、体験施設ではアイスクリームやバター、ソーセージなどの手作り体験が楽しめる。バーベキューでお腹いっぱいになった後は123mの長いローラー滑り台で遊んだりすることができる。体験は要予約。

★3月下旬～11月中旬(休日は要問合せ、体験は12月～3月下旬でも予約があれば可) 9～16時 174P参照 0226-43-9006(農事組合法人モーランド)

歴史・文化 岩井崎塩づくり体験館

気仙沼市

MAP P.125



出来上がった塩をおみやげに

岩井崎は、かつて、仙台藩御塩場として塩づくりが行われていた、歴史ある場所である。昔の塩づくりについて学びながら、海水を使ったミネラル豊富な自然塩を作る体験ができる。

9～16時 休水曜休 174P参照 0226-27-5410(気仙沼市階上観光協会)

歴史・文化 リアス・アーク美術館

気仙沼市

MAP P.125



震災関係展示室もオープン

「地域の文化を未来に伝える方舟(はこぶね)」として建てられた美術館。常設展示は、東北・北海道の作家や気仙沼・本吉地域と関わりが深い美術家の作品を展示する「美術常設展示」と、地域の民俗資料を「食」をキーワードで紹介する「方舟日記」と、「東日本大震災の記録と津波の災害史」がある。

9時30分～17時(入館は～16時30分) 休月・火曜、祝日の翌日(土・日曜を除く)、及びメンテナンス休 500円 50台 174P参照 0226-24-1611

歴史・文化 気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館

気仙沼市

MAP P.125



震災の記憶と防災の大切さを後世に残す

東日本大震災の津波により大きな被害を受けた気仙沼市。その記憶と教訓を後世に残していこうと、気仙沼向洋高校を被災当時のまま震災遺構として残している。併設する伝承館では、震災当時の様子を映像で紹介、津波が来襲する様子などを上映。

9時30分～17時(10～3月は～16時) 休月曜(祝日の場合は翌日休)、祝日の翌日(土日、GW期間は除く)、12月29～1月4日 600円 55台 174P参照 0226-28-9671

歴史・文化 気仙沼市大谷鉱山歴史資料館

気仙沼市

MAP P.124



黄金文化を支えた金山の歴史を伝える

本吉地区の大谷鉱山の歴史を伝える大谷鉱山歴史資料館。作業の様子などの資料が展示されている。「三陸ジオパーク」のジオサイトの一つだ。

10～16時 休水曜休 入館無料 20台 174P参照 0226-44-3180(本吉町産業振興公社)

歴史・文化 鹿折金山資料館

気仙沼市

MAP P.125



「気仙産金ジオサイト」の一画

鹿折金山は、明治時代末期、重さ2.25kg、純度83%、金鉱石品位で世界記録となる“モンスターゴールド”が採掘された。その写真や、金鉱石・工具・文献などが展示されている。隣に建てられた金山神社にはモンゴルから寄贈された世界最大級の岩塩(重さ1580kg)が展示されている。

10～16時 休火曜休 入館無料(特別企画は有料) 10台 174P参照 0226-29-5008(中村敬二館長宅)

レジャー・ショッピング 南町紫神社前商店街

気仙沼市

MAP P.125



災害公営住宅に併設する商店街

震災の被害が大きかった気仙沼市内湾地区に開業。災害公営住宅の隣に飲食店や青果店、鮮魚店、酒店などが20店以上が集まった施設。

店舗により異なる 店舗により異なる 18台 174P参照 0226-25-9756

レジャー・ショッピング 魚町内湾商店会

気仙沼市

MAP P.125



内湾地区に賑わいを生む

「南町紫神社前商店街」と同じく内湾地区にオープン。食堂など災害公営住宅1階の3店と、周辺の3店からなる。2つの商店街はすぐ近くにあるので、一緒に楽しみたい。

店舗により異なる 店舗により異なる 5台 174P参照 0226-25-9756

レジャー・ショッピング 道の駅 大谷海岸

気仙沼市

MAP P.125



三陸グルメがそろう道の駅

海を見渡す国道45号線沿いに建つ。三陸の海の幸や地場産野菜が揃う直売コーナー、レストランなどを備える。メカジキを使ったメカカレーやフカヒレラーメン、フカヒレソフトが人気。

9～17時30分 休無休 56台 174P参照 0226-44-3180

レジャー・ショッピング 南三陸ハマーレ歌津

南三陸町

MAP P.124



食堂やカフェ、みやげ店などが一堂に

南三陸町歌津地区の海を一望でき、木の温もりを感じる商業施設。国道45号沿いに整備され、歌津ICからは5分ほどの場所になる。カフェ、食堂、海産物店、そのほか衣料品、電気店など生活関連の店も入る。(写真提供:南三陸観光協会)

店舗により異なる 店舗により異なる 50台 174P参照 0226-36-3117

レジャー・ショッピング 南三陸さんさん商店街

南三陸町

MAP P.124



南三陸グルメが集まる観光施設



飲食店や鮮魚店、菓子店など28店が集い、ご当地井「南三陸キラキラ井」などのグルメや、多彩なみやげ選びを楽しめる人気スポット。南三陸杉を使った平屋造りは、建築家の隈研吾氏によるデザイン。また写真撮影スポットとしてモアイ像や商店街をモチーフとした看板もある。(写真提供:南三陸観光協会)

店舗により異なる 店舗により異なる 300台 174P参照 0226-25-8903

自然 神割崎



石巻市・南三陸町
MAP P.124

神が割ったとの伝説が残る

南三陸町と石巻市の境。昔、境界争いをする人々に怒った神様が、仲裁のため岩を2つに割ったという伝説が残る。割れた奇岩の間から荒波が流れ込む様子がみられる。

📍100台 📞174P参照 ☎0226-46-1385(南三陸町商工観光課)・0225-67-2114(石巻市北上総合支所)



●神割崎でキャンプ

神割崎の松林の中にキャンプ場があり、太平洋を眺めながらキャンプが楽しめる。ペット同伴可能でオートキャンプや日帰りバーベキューもでき、レストラン(月・火曜休)も併設。手ぶらで気軽にキャンプやバーベキューを楽しめるプランもある。

★キャンプ場は4～11月 📞火曜休 📍入村料600円
📞174P参照 ☎0226-46-9221(神割観光プラザ)

温泉 海辺の温泉



潮風と共に楽しめる3つの温泉

●気仙沼ブラザホテル

高台に立つ気仙沼ブラザホテルでは天然温泉の露天風呂に浸りながら、気仙沼港に上る朝日や、夕日に染まる大島を眺められる。

📍100台 ☎0226-23-1313



●サンマリン気仙沼ホテル観洋

気仙沼の海岸通りには内湾を望める宿泊施設がいくつかある。天然温泉が楽しめるサンマリン気仙沼ホテル観洋では、日帰り入浴が可能。宿泊に関しては要問合せ。

📍100台 ☎0226-24-1200



●南三陸ホテル観洋

国道45号沿い、志津川湾を一望できるホテルで温泉と景観が同時に楽しめる。ナトリウム・カルシウム・塩化物泉、低張性中性低温泉。海に突き出たような露天風呂はまるで海に浮かんでいるよう。

📍200台 ☎0226-46-2442

自然 志津川湾クルージング



潮風を感じ、ウミネコと戯れる

リアス式海岸の荒々しい岬や島々[荒島・野島・竹島・椿島(国天然記念物)]の景色を眺めながらウミネコと遊び、のんびりとクルージングで南三陸の海を楽しむことができる。

📍1200円 📞174P参照 ☎0226-46-2442(南三陸ホテル観洋)

レジャー・ジョギング さとうみファーム



お楽しみ満載の体験型牧場

羊毛のワークショップやバーベキュー、シーカヤックツアーなど、多彩なアクティビティを体験できる牧場。敷地内には愛らしいひつじたちが暮らしており、気軽にふれあえる。

シーカヤックツアー 📍午前コース:10～12時30分、午後コース:13時30分～16時 📞無休 📍大人6500円、子ども3000円 📍5台 📞174P参照 ☎0226-29-6379(前日17時までに要予約※予約先:satoumi.kayak@gmail.com)

歴史・文化 南三陸ポータルセンター

南三陸に関する情報はおまかせ!



オシャレな木造平屋造りと大型 TENT を活用した仮設施設。観光案内窓口、東日本大震災の記録展示、イベントやワークショップの場所となっている。

📍9～18時 📞無休 📞174P参照 ☎0226-47-2550(南三陸町観光協会)



●南三陸里山・里海サイクリング みなチャリ!

サイクルガイドに案内されながら南三陸の自然を楽しむ「自転車散歩」が好評。コースは里山と田園風景広がる入谷地区を巡る「入谷コース」と志津川地区の復興を象徴する海岸線を走る「志津川コース」がある。開催期間は3～11月。

📍10～12時、13時30分～15時30分 📞水曜休
📍3000円～ 📞174P参照

レジャー・ジョギング 宮城県志津川自然の家



海を一望する自然体験施設

本格的な海洋研修、洋上研修など海洋型の自然体験活動を行うことができる東北唯一の社会教育施設。眼下の志津川湾では、シーカヤック体験やいかだ作り、海遊びなどができるほか、広いグラウンドや体育館も完備。研修や合宿に最適な施設となっている。

📞174P参照 ☎0226-46-9044

自然 南三陸・海のビジターセンター



自然体験活動の拠点

三陸復興国立公園の自然や文化についての展示を見学できる。そのほか、子どもから大人まで楽しめる、海を中心とした自然体験や自然科学・環境教育プログラムがある。

📍9時30分～16時30分 📞火曜休(祝日の場合はその翌日休)、春休み・夏休み期間は無休 📍25台 📞174P参照 ☎0226-25-7622

歴史・文化 校舎の宿さんさん館



グリーン・ツーリズム体験

廃校となった木造校舎を利用した宿。野菜の種蒔き(4月)などの農業体験、間伐体験(11～3月)などの林業体験等々、宿泊しての体験メニューが100種類もある。

★3～7日前までに要予約(体験内容により事前予約の日数異なる) 📍50台 📞174P参照 ☎0226-46-5633

レジャー・ジョギング 子ども夢牧場



歌津の海体験もプログラム

東日本大震災の復興支援活動から誕生した、羊と触れ合いながら羊毛で手作り体験ができる牧場。またシーカヤックや漁業体験などのプログラム、羊毛ワークショップなども開催。園内にはバーベキュー広場があり、新鮮なオリジナルブランド肉「わかめ羊」も味わえる。

📞174P参照 ☎0226-29-6379(さとうみファーム)

歴史・文化 モアイ像



チリのイースター島から贈られた

1960年のチリ地震の際、遠い海の向こうから押し寄せてきた津波により志津川地区だけで41名の犠牲者が出た。この津波の記憶を後世に伝えようと、チリ彫刻家に依頼して創ったモアイ像が、当時の松原公園に設置された。しかし東日本大震災でこのモアイ像が被災。チリから新たなモアイ像が贈られ、南三陸さん商店街横に設置されている。

☎174P参照 ☎0226-47-2550(南三陸町観光協会)

歴史・文化 ひころの里



仙台藩の養蚕発祥の地

南三陸町入谷地区は仙台藩養蚕発祥の地として栄えた地域。ひころの里のシルク館では、養蚕業の歴史を紹介している。江戸時代の郷士の居宅(町文化財)のある松笠屋敷も見ものだ。

☎9～17時(11～3月は～16時) ☎火曜休(祝日の場合は開館) ☎400円 ☎50台 ☎174P参照 ☎0226-46-4310

宮城

人から街へ、新発見、新体験!

もの知リーズ



金華山黄金山神社にお参りすると お金に困らない?

多くの鹿が生息する金華山。ここにある黄金山神社に3年続けてお参りすると、一生お金に困らないといわれ、そのご利益を信じていつも多くの参拝客が訪れる。



「西の明石、東の志津川」とも称されるほど、ブランドタコとして定着しているのが志津川のタコ。荒波で身が引き締まり、アワビを食べているため味が別格だとか。

志津川 ダコ

気仙沼漁港は生鮮カツオ、 生鮮メカジキ、サメ類の 水揚高が日本一!



気仙沼漁港の2019年(令和元年)水揚高は、数量約6.5万トン。生鮮カツオの水揚高23年連続日本一(21,502t)。生鮮メカジキは水揚高日本一(2,234t)。サメ類も水揚高日本一(9,773t)。この他、近海及び沿岸漁業が盛んで、魚種別に見た水揚高(数量)の日本一も多い。

(統計数値:水産業振興課 令和2年主要4港水揚統計 調査)



<ホヤ>

海のバイナッブルとも呼ばれ、酒の肴にぴったりの珍味、「ホヤ」の生産量は宮城県が全国第1位。実はこのホヤ、甘味・塩味・酸味・苦味・旨味という味覚の基本要素が、すべて詰まった珍しい食材。

<ギンザケ>

宮城県は、養殖ギンザケ発祥の地でもある。1975年(昭和50年)に志津川湾で始まって以来、県北中部で広く養殖され、養殖ギンザケの生産量も宮城県が全国第1位で、国内全体の約9割を占めている。

<赤貝>

赤貝は江戸前寿司には欠かせない高級寿司ネタ。その赤貝の中でも、市場(築地など)での評価が高く、日本一と称されているのが名取市関上産の赤貝。ミシュランガイド東京の三つ星獲得シェフとして知られる寿司職人も、「築地で手に入る赤貝では関上が最高」と絶賛している。

「ホヤ」「ギンザケ」「赤貝」 日本一の海の幸!